

**変更点**

①. 作業員名簿を提示書類とします。

・ 警備業務の資格者証等が提出から提示になります。

## 工事提示書類一覧表

	参考様式等	ファイル形式等	チェックリスト
①	(施工体制台帳) 作業員名簿	エクセル	22
②	保安施設設置記録簿	エクセル	33
③	建設機械点検表 (労働安全衛生規則第 170 条他)	ワード	33
④	建設機械作業点検表 (労働安全衛生規則第 151 条の 2、158 条他)	エクセル	33
⑤	足場工点検表【該当する場合】 (労働安全衛生規則第 567 条他)	エクセル	
⑥	土留め水替点検表【該当する場合】 (労働安全衛生規則第 373 条)	ワード	
⑦	建設業退職金共済証紙貼付状況報告書	エクセル	54
⑧	安全訓練実施報告書	ワード	64
⑨	災害防止協議会議事録	エクセル	65
⑩	安全巡視日誌	ワード	66
⑪	安全ミーティング・危険予知活動報告書	ワード	66
⑫	新規入場者アンケート	エクセル	67
⑬	安全衛生パトロール点検表	ワード	68
・	施工体制台帳 添付書類	ワード	70
	警備業務についての、合格証明書の写し等		12
・			
・	マニフェスト (産業廃棄物管理票 A 票、E 票)		71
・	伝票 (誘導員、各種計量、納入伝票、 建設発生土の搬出伝票等)		61
	法定外の労災保険の証券又はこれに代わるものの写し (公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する 補償に必要な保険契約)		11

# 作 業 員 名 簿

( 年 月 日作成)

事業所の名称  
・現場ID \_\_\_\_\_  
所長名 \_\_\_\_\_

本書面に記載した内容は、作業員名簿として安全衛生管理や労働災害発生時の緊急連絡・対応のために元請負業者に提示することについて、記載者本人は同意しています。

一次会社名  
・事業者ID \_\_\_\_\_

元請 確認欄	
提出日	年 月 日
( 次)会社名 ・事業者ID _____	

番号	ふりがな	職種	※	生年月日	健康保険	建設業退職金 共済制度	教 育 ・ 資 格 ・ 免 許			入場年月日
	氏名			年金保険	中小企業退職金 共済制度		雇入・職長 特別教育	技能講習	免 許	受入教育 実施年月日
	技能者ID			雇用保険						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日
				年 月 日						年 月 日
				歳						年 月 日

(注) 1. ※印欄には次の記号を入れる。

- ① …現場代理人    ② …作業主任者 (注) 2.)    ③ …女性作業員    ④ …18歳未満の作業員
- ⑤ …主任技術者    ⑥ …職 長    ⑦ …安全衛生責任者    ⑧ …能力向上教育    ⑨ …危険有害業務・再発防止教育
- ⑩ …外国人技能実習生    ⑪ …外国人建設就労者    ⑫ …1号特定技能外国人

(注) 2. 作業主任者は作業を直接指揮する義務を負うので、同時に施工されている他の現場や、同一現場においても他の作業個所との作業主任者を兼務することは、法的に認められていないので、複数の選任としなければならない。

(注) 3. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。

(注) 4. 各社別に作成するのが原則だが、リース機械等の運転者は一緒でもよい。

(注) 5. 資格・免許等の写しを添付すること。

(注) 6. 健康保険欄には、左欄に健康保険の名称(健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険)を記載。上記の保険に加入しておらず、後期高齢者である等により、国民健康保険の適用除外である場合には、左欄に「適用除外」と記載。

(注) 7. 年金保険欄には、左欄に年金保険の名称(厚生年金、国民年金)を記載。各年金の受給者である場合は、左欄に「受給者」と記載。

(注) 8. 雇用保険欄には右欄に被保険者番号の下4けたを記載。(日雇労働被保険者の場合には左欄に「日雇保険」と記載)事業主である等により雇用保険の適用除外である場合には左欄に「適用除外」と記載。

(注) 9. 建設業退職金共済制度及び中小企業退職金共済制度への加入の有無については、それぞれの欄に「有」又は「無」と記載。

(注) 10. 安全衛生に関する教育の内容(例:雇入時教育、職長教育、建設用リフトの運転の業務に係る特別教育)については「雇入・職長特別教育」欄に記載。

(注) 11. 建設工事に係る知識及び技術又は技能に関する資格(例:登録〇〇基幹技能者、〇級〇〇施工管理技士)を有する場合は、「免許」欄に記載。

(注) 12. 記載事項の一部について、別紙を用いて記載しても差し支えない。

# 保安施設設置記録簿

《参考様式》

工事名																現場代理人							
請負者																主任技術者							
工期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																						
上記工事について、下記の通り保安施設を設置し、保安施設設置記録簿により毎日確認し、交通の安全と円滑を図ります。																							
確認事項	警戒標識			規制標識					指示標識					その他					確認欄				
	工事中看板	工事説明看板	工事中	通行止	車両通行止	片側通行止 (交互)	片側通行	徐行	この先 50 m	この先 100 m	この先 200 m	徐行	まわり道案内板	まわり道案内標識	→ (方向表示板)	セーフティーコーン	赤(黄)色保安灯	バリケード	回転灯	交通誘導員	信号機	施設の設置状況について確認者の氏名を記入のこと。	
	記号	様式1	補助板	213	301	302		329				329	様式3	120-A		矢印板							
数量																							
	確認事項															処理欄							
通行車両の安全	片側交互通行時における交通誘導に使用する旗は、色は赤及び白に統一しているか。																						
	危険物を使用する場合は、通行車両等に通告を徹底し危険予防に努めているか。																						
	防護施設、交通標識等は利用者の視点で設置箇所及び大きさ等を決めているか。																						
	舗装の舗設中の段差はつけない。すり付勾配は標準仕様書を遵守しているか。																						
歩行者の安全	歩行者、自転車の安全のために、柵などで通行巾を確保し転落等の公衆災害防止に努めているか。																						
	通園、通学に指定された道路での作業には、作業時間、施工方法について特に考慮しているか。																						
工事車両の安全	工事に使用するダンプトラック、生コン車、生アス車等の交通安全教育を徹底しているか。																						
	工事に使用するリフト車、クレーン車については、一般通行者に危険を及ぼす恐れがないかを、よく確認し、必要な場合は通行止を行って作業をしているか。																						
	ナンバープレートのない車輛(バックホー、ブルドーザー、ロードローラ等)は道路を通行させていないか。																						

注 保安施設記録簿並びに配置図は、工事期間中は常に工事現場に備えておくなくてはならない。  
毎日作業後は保安施設を確認すること。

車両系建設機械始業前・月例点検表

作業所名 \_\_\_\_\_

点検者名 \_\_\_\_\_

会社名 \_\_\_\_\_

統責者	元方 管理者	担当者

機械名		容量	点検日				
点検項目		主眼点					
エンジン	クランクケース	油量はよいか。					
	ラジエータ	水は十分か。フィンの目詰まり、水漏れはないか。					
	ファンベルト	張りはよいか。損傷はないか。					
	ゲージ	作動はよいか。損傷はないか。					
	燃料系統	漏れはないか。					
	潤滑油系統	漏れはないか。					
作業装置	主クラッチまたはトルクコンバータ	作動はよいか。油量はよいか。					
	トランスミッション	作動はよいか。油量はよいか。					
	ブーム起伏装置	作動はよいか。					
	旋回装置	スムーズに動くか。					
	油圧装置	油漏れはないか。					
走行装置	ブレーキ	作動はよいか。					
	足回り	履帯の緩みは適当か。シューボルトの緩み、脱落はないか。					
	シャーシ・フレーム	給油脂はよいか。					
安全装置	起伏制限装置または警報装置	作動するか。					
	ロック装置	作動するか。					
	警報器	作動はよいか。					
その他	バケット	損傷はないか。					
設備	運転者名札	取りつけてあるか。					
環境	作業場所の路盤	足元の安定、歯止めはよいか。					
月例	取扱責任者の表示がされているか。						
点検者(運転者)サイン							
元請確認サイン							

## 記入要領

- 1.点検者 原則として当該作業を行う者のうちから事業者が指名した者が点検する。
- 2.点検方法 当該場所で点検表より点検する。
- 3.記入方法 筆記用具は黒色のボールペンとする。記入は良好○、その場で是正したもの△、不良×と記入し、点検表の備考欄に改善事項など記入しておく。該当事項がない場合は／線を記入する。
- 4.点検結果 即時是正できる事項は、是正を行った後作業を行い、すぐに是正できない事項については、作業を中止して、元請の係員に報告する。また、元請への提出は、その都度提出してサインを受ける。
- 5.点検時期 その日の使用前（休憩後も含まれる）
- 6.月例点検は、全項目について行う。

## 注意事項

- 1.作業は作業計画通り行なう。
- 2.路肩、法肩での作業は、地盤の亀裂、崩壊が起きないか確認する。
- 3.作業中は機械の作業半径内に従業員を立ち入らせない。
- 4.合図は確認して、それに従う。
- 5.運転席を離れる時は、バケットを地面に降ろし、ブレーキをかけキーを抜く。
- 6.修理、アタッチメントの脱着作業は作業指揮者を定め、その者の指揮で行なう。
- 7.主たる用途以外の作業には機械を使用しない。

# 掘 削 作 業

《参考様式》

点 検 項 目	準拠条項	点検結果		措 置 内 容
		○ 良 × 否	該 当 な し	
地山掘削の前に次の事項について調査を行っているか 1.形状、地質、地層の状態 2.亀裂、含水、湧水、凍結の有無と状態 3.埋設物の有無と状態 4.高温のガス、蒸気の有無と状態	安衛則355			
2.0m以上の地山の掘削作業では、作業主任者を選任しているか	安衛則359			
作業開始前、中震以上の地震及び大雨後等に、浮石及び亀裂の有無及び状態並びに含水、湧水及び凍結の状態の変化を点検しているか	安衛則358			
埋設物等による危険の防止の措置を講じているか	安衛則362			
地山の崩壊等により作業員に危険を及ぼすおそれがある場合は、山留め支保工を設け、防護網を張り、立入禁止措置を行っているか	安衛則361			
夜間の作業では十分な照明を確保しているか	安衛則367			
法肩の近くに土砂、重量物等を置いていないか				
掘削は安全な勾配か	安衛則534			
浮石及び亀裂はないか	安衛則534			
排水設備、表面排水処理は十分か	安衛則534			
立入禁止の柵、手摺を設けているか				
スカシ掘りをしていないか	安衛則534			
運転席以外の所に作業員を乗せていないか	安衛則162			
運転席を離れる時はバケットを下げ、キーを抜き、走行ブレーキをかけているか	安衛則160			
旋回する周囲に作業員が立ち入っていないか				
立入禁止の措置又は誘導員の配置はよいか	安衛則158			
主たる用途外の使用(荷の吊り上げ等)をしていないか	安衛則164			
法面等の作業時に地盤の確認をしているか				
路肩の崩壊のおそれはないか				
走行路の勾配は急すぎないか				
転倒又は転倒防止の措置はしてあるか				

安衛則：労働安全衛生規則

## 整地・運搬・積込み用機械

《参考様式》

点 検 項 目	準拠条項	点検結果		措 置 内 容
		○ 良	× 否	
運転席以外の所に作業員を乗せていないか	安衛則162			
前照灯の設置はよいか	安衛則152			
運転席を離れる時はブレードを下げ、キーを抜き、走行ブレーキをかけているか	安衛則160			
ヘッドガードに損傷、曲り等の異常はないか	安衛則153			
転倒又は接触等の危険がある場合は誘導員を配置しているか	安衛則157,158			
作業員を機械の周囲へ立入らせていないか	安衛則158			

安衛則:労働安全衛生規則

# 移動式クレーン作業

《参考様式》

点 検 項 目	準拠条項	点検結果		措 置 内 容
		○ 良 × 否	該 当 な し	
運転席以外の所に、作業員を乗せていないか	安衛則162			
巻過防止装置は有効に作動するか	移ク構規24			
吊荷は定格荷重を超えていないか				
吊荷の下に立ち入っていないか	クレーン則29,74の2			
長尺物にはかいしゃくロープを使用しているか				
合図者を配置しているか				
アウトリガーは最大に張り出しているか	クレーン則70の5			
立入禁止装置を行っているか	クレーン則74,74の2			
車体を水平にセットしているか				
過負荷防止装置を正しくセットしているか				
旋回警告灯及び旋回アラームは正しく作動するか				
外部表示灯を設置しているか				
定格荷重を表示しているか	クレーン則70の2			
フックの外れ止めは有効に作動するか	クレーン則20の2			
強風時(平均風速が10m/s以上の風)には作業を中止しているか	クレーン則74の4			
運転者は、荷を吊った状態で運転席から離れていないか	クレーン則75			
軟弱な地盤では敷鉄板を使用しているか	クレーン則70の3			

安衛則：労働安全衛生規則、クレーン則：クレーン等安全規則、移ク構規：移動式クレーン構造規格



# 玉 掛 作 業

《参考様式》

点 検 項 目	準拠条項	点 検 結 果		措 置 内 容
		○ 良 × 否	該 当 な し	
玉掛ワイヤに形くずれ、素腺切れ等の損傷はないか	クレーン則215			
1本吊りをしていないか(丸太、角パイプ、単管、酸素・アセチレンボンベなど)				
地切りをし、吊り荷の安定を図っているか				
荷の鋭角部にあて物をしているか				
枕木を設けているか				
吊り荷の下に作業員が立ち入っていないか	クレーン則29,74の2			
長尺物にはかいしゃくロープを使用しているか				
合図者を配置しているか				
吊り角度は60° 以内になっているか				
フック、シャックル等の金具に変形、亀裂はないか	クレーン則217			
荷の重心の真上にフックがかかるようになっているか				
荷を移動させる場合、吊り上げ高さは適正か(地上2mが標準)				
横引き、斜め吊りをしていないか				
作業員自身の足が、荷の下敷きにならないように注意しているか				
作業員自身の手が、ロープに挟まれないように注意しているか				

安衛則：労働安全衛生規則、クレーン則：クレーン等安全規則、移ク構規：移動式クレーン構造規格

足場の組立て後等の点検表【わく組足場】 《参考様式》

点検回数: 回目

工事名:	組立開始日: 年 月 日	点検日: 年 月 日( 曜日)
工期:	点検実施理由:(組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、その詳細( )	
事業場名: (元請)	足場の用途:	元請確認
組立て事業者:	足場の概要:(高さ m、幅 m)(層数、スパン数)、設置面状態( )	
作業主任者:	点検者職氏名:	
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):	

点検項目	点検内容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届) 部材	1 建わく、床付き布わく、交さ筋かい等、ベース金具等の脚部、補強材等は計画通りか				
	2 部材(建わく、床付き布わく、交さ筋かい、緊結金具、脚柱ジョイント等)の損傷及び腐食がないか				
	3 足場部材として決められたものが使用されているか				
基礎	4 敷板、敷角等に異常はないか				
	5 ジャッキ型ベース金具は、敷板に釘止めされているか				
	6 ジャッキ型ベース金具にゆるみはないか				
	7 根がらみは所定の位置に直交型緊結金具で緊結されているか				
	8 敷板に直角方向の根がらみは取り付けられているか				
建わく	9 躯体と建わくの設置間隔はよいか				
	10 建わく脚柱は、アームロック、ピン差し等で固定されているか				
	11 脚柱ジョイント、アームロックは、抜け止めのロックがされているか				
交さ筋かい	12 交さ筋かいは、全層、全スパンにわたって枠組の両面に取り付けられているか				
	13 交さ筋かいピンは完全にロックされているか				
下さん	14 下さんが取り付けられているか				
	15 建わくの脚柱等に固定されているか				
床付き布わく	16 床付き布わくは、幅40cm以上、すき間3cm以下であるか				
	17 床付き布わくは、はり間方向において建わく脚柱にすき間なく取り付けられているか				
	18 床付き布わくのつかみ金具は、外れ止めがロックされているか				
手すり(妻面)	19 妻面等に高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等があるか				
手すり先行工法の手すりわく等	20 手すりわくの取り付けは正しく行われているか				
	21 交さ筋かい併用の手すりわくの箇所には、交さ筋かいは取り付けられているか				
	22 手すりわくの下部には、幅木が取り付けられているか				
階段	23 階段わくのつかみ金具は、外れ止めがロックされているか				
	24 昇降部に手すり・中さんを取り付けてあるか				
	25 階段開口部に手すり、中さんを取り付けてあるか				
	26 階段を計画通り設置しているか、位置、数は適切か				

点検項目	点検内容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
壁つなぎ 又は控え	27 壁つなぎ又は控えは、水平、垂直とも決められた通りの間隔で設置されているか				
	28 壁つなぎに専用の壁つなぎ用金具が使用されているか				
	29 壁つなぎは壁面に直角(15度以内)に付いているか				
	30 控えは、緊結金具等により建わく脚柱に堅固に固定されているか				
	31 壁つなぎ、又は控えのアンカーは、十分な強度のあるところに固定されているか				
梁わく	32 梁わくを支持している建わくの補強は良いか				
	33 梁わくの支持部は異常ないか				
	34 梁わくには梁渡し等による補強がされているか				
層間安全ネット	35 計画通りの位置に設置されているか(2層以下)				
	36 すき間なく有効に張られているか				
	37 安全ネットは、持送りわく等につり綱等で確実に取り付けられているか				
落下物防止用	38 幅木、メッシュシート、防網は計画通りか				
幅木	39 幅木等は取り外されていないか				
	40 幅木は脚柱に確実に取り付けられているか				
メッシュシート	41 メッシュシートは水平支持材に取り付け、すべてのはとめで緊結されているか				
防網	42 防網のつり綱は確実に緊結されているか				
渡りの設置	43 建物と足場間に設置されているか、また、不備はないか(位置・箇所・手すり等)				
その他	44 防護棚等の付帯設備の取り付けは問題ないか				
	45 最大積載荷重は表示されているか				
	46 作業主任者名とその職務は表示されているか				
上さん (より安全な措置)	47 上さんが取り付けられているか				

## 足場の組立て後等の点検表【単管足場】

《参考様式》

点検回数:      回目

工 事 名:	組立開始日:      年      月      日	点検日:      年      月      日 (      曜日)	
工 期:	点検実施理由:(組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、 その詳細(      )		
事業場名: (元 請)	足場の用途:		元請確認
組立て事業者:	足場の概要:(高さ      m、幅      m)(層数      、スパン数      )、設置面状態(      )		
作業主任者:	点検者職氏名:		
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):		

点検項目	No.	点 検 内 容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届) 部材	1	床材、建地、布、腕木、手すり等、ベース金具等の脚部、補強材等は計画通りか				
	2	部材(床材、建地、布、腕木、継手金具、緊結金具等)の損傷及び腐食がないか				
	3	足場部材として決められたものが使用されているか				
	4	単管ジョイントに摩擦型のものが使われていないか				
基礎	5	敷板、敷角に沈下等の異常はないか				
	6	脚部に固定型ベース金具が使用されているか				
	7	固定型ベース金具は敷板に釘付けされているか				
	8	根がらみは、所定の位置に直交型緊結金具で緊結されているか				
	9	敷板と直角方向の根がらみは取り付けられているか				
建地	10	建地の設置間隔(1.85m以下)はよいか				
	11	建地の接続部は単管ジョイントが用いられているか (摩擦型は不可)				
	12	建地の接続部は千鳥配置になっているか				
	13	建地は、上端から31m下方の部分は2本組になっているか				
	14	建地の接続部は完全にロックされているか				
布	15	地上第一の布は、基底部から2m以下の高さに設けているか				
	16	布は、水平に直交型緊結金具で建地に緊結されているか				
	17	布の接続部は単管ジョイントを用い、完全にロックされているか				
	18	布の接続部は、千鳥に配置されているか				
腕木	19	腕木は、建地と布の交点付近に設けられ、直交型緊結金具で緊結されているか				
	20	腕木は、建地より5m以上突き出て取り付けられているか				
転がし	21	転がしは、直交型緊結金具で布に緊結されているか				
	22	転がしの取り付け間隔は、適切か				
	23	転がしは、布より5cm以上突き出て取り付けられているか				

## 足場の組立て後等の点検表【ブラケット側足場】 《参考様式》

点検回数:      回目

工 事 名:	組立開始日:      年      月      日	点検日:      年      月      日(      曜日)	
工 期:	点検実施理由:(組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、 その詳細(      )		
事業場名: (元 請)	足場の用途:	元請確認	
組立て事業者:	足場の概要:(高さ      m、幅      m)(層数      、スパン数      )、設置面状態(      )		
作業主任者:	点検者職氏名:		
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):		

点検項目	No.	点 検 内 容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届) 部材	1	床材、建地、布、ブラケット、手すり等、ベース金具等の脚部、補強材等は計画通りか				
	2	部材(床材、建地、布、ブラケット、単管ジョイント、緊結金具等)の損傷及び腐食がないか				
	3	足場部材として決められたものが使用されているか(単管ジョイントに摩擦型は不可)				
基礎	4	敷板、敷角に沈下等の異常はないか				
	5	脚部に固定ベース金具が使用されているか				
	6	固定ベース金具は敷板に釘付けされているか				
	7	根がらみは、所定の位置に直交型緊結金具で緊結されているか				
	8	建地の下部には、敷板と直角方向に壁つなぎが取り付けられているか				
建地	9	建地の設置間隔(1.85m以下)はよいか				
	10	建地の接続部は単管ジョイントが用いられているか				
	11	建地の接続部に摩擦型の単管ジョイントが使用されていないか				
	12	建地の接続部は完全にロックされているか				
	13	建地の接続部は千鳥配置になっているか				
	14	足場の高さは15m以下か。15mを超える場合、建地は2本組になっているか				
布	15	地上第一の布は、基底部から2m以下の高さに設けてあるか				
	16	布は、水平に直交型緊結金具で建地に緊結されているか				
	17	布の上下間隔は、1.8m以下になっているか				
	18	布の接続部は単管ジョイントが用いられているか				
	19	布の接続部に摩擦型の単管ジョイントが使用されていないか				
	20	布の接続部は完全にロックされているか				
	21	布の接続部は、千鳥に配置されているか				
ブラケット	22	ブラケットは建地と布の交さ部付近に設けられているか				
	23	ブラケットは幅が60cm以下のものか				
	24	ブラケットは建地に堅固に取り付けられているか				

点検項目	点 検 内 容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
大筋かい	25 大筋かいは所定の設置間隔で交さ二方向に設けられているか				
	26 建地に自在型緊結金具で緊結されているか				
	27 大筋かいは、建地と布の交点付近に設けられているか				
緊結金具	28 緊結金具は所定の締め付けトルクで緊結されているか				
	29 各部材間の緊結部にゆるみはないか				
作業床	30 作業床は、床幅は40cm以上あるか				
	31 作業床は、はり間方向において建地とすき間なく取り付けられているか				
	32 作業床の足場板はブラケットにゴムバンド等で固定されているか				
	33 作業床の足場板の重ね合わせは、20cm以上でブラケット上で行われているか				
手すり、中さん	34 高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等があるか				
	35 妻面に手すり及び中さん等が設けられているか				
壁つなぎ 又は控え	36 壁つなぎ又は控えの間隔は、水平、垂直方向とも3.6m以下になっているか				
	37 壁つなぎに専用の壁つなぎ用金具が使用されているか				
	38 控えは、緊結金具等により建地に堅固に固定されているか				
	39 壁つなぎ、又は控えのアンカーは十分な強度のあるところに固定されているか				
落下物防止用	40 幅木、メッシュシート、防網は計画通りか				
幅木(より安全な措置)	41 幅木等は取り外されていないか				
	42 幅木は脚柱に確実に取り付けられているか				
メッシュシート	43 メッシュシートは水平支持材に取り付け、すべてのはとめで緊結されているか				
防網	44 防網のつり綱は確実に緊結されているか				
昇降設備	45 梯子は、最上部の作業床の上方に60cm以上突き出て固定されているか				
	46 梯子は、幅30cm以上で、踏みさんは等間隔になっているか				
その他	47 最大積載荷重は表示されているか				
	48 作業主任者名とその職務は表示されているか				

## 足場の組立て後等の点検表 【くさび緊結式足場】 ‹参考様式›

点検回数: 回目

工 事 名:	組立開始日: 年 月 日	点検日: 年 月 日 ( 曜日)	
工 期:	点検実施理由: (組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、 その詳細( )		
事業場名: (元 請)	足場の用途:	元請確認	
組立て事業者:	足場の概要: (高さ m、幅 m) (層数 、スパン数 )、設置面状態( )		
作業主任者:	点検者職氏名:		
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):		

点検項目	No.	点 検 内 容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届) 部材	1	床付き布わく、支柱、布、腕木、手すり等、ベース金具等の脚部、補強材等は計画通りか				
	2	部材(床付き布わく、支柱、布、腕木、継手金具、緊結金具等)の損傷及び腐食がないか				
	3	足場部材として決められたものが使用されているか				
基礎	4	敷板、敷角に沈下等の異常はないか				
	5	脚部にねじ管式ジャッキ型ベース金具が使用されているか				
	6	ねじ管式ジャッキ型ベース金具は敷板に釘付けされているか				
	7	根がらみは所定の位置に取り付けられているか				
	8	敷板と直角方向の根がらみが取り付けられているか				
支柱	9	支柱の設置間隔(1.85m以下)はよいか				
	10	支柱の接続部はピン差し等による抜け止めが行われているか				
	11	支柱の接続部は千鳥配置になっているか				
	12	足場(支柱)の高さは、31m以下になっているか				
布	13	地上第一の布は、基底部から2m以下の高さに設けているか				
	14	布の両端のくさびは、建地の緊結部にゆるみなく堅固に打ち込まれているか				
	15	布は、各層、各スパンに設けられているか				
腕木(緊結部付 ブラケット)	16	腕木は、建地と布の交点付近に設けられているか				
	17	腕木の両端のくさびは、建地の緊結部にゆるみなく堅固に打ち込まれているか				
	18	腕木は各層、各スパンに設けられているか				
	19	腕木の垂直方向の間隔は2m以下ごとに設けられているか				
筋かい	20	大筋かいの場合は8層8スパン以下ごとに交さ二方向に設けられているか				
	21	専用筋かいの場合は、6層6スパン以内ごとに交さ二方向に設けられているか				
	22	大筋かい又は専用筋かいは、支柱にゆるみなく堅固に取り付けられているか				
	23	大筋かいは、建地と布の交点付近に設けられているか				
部材の緊結部	24	くさびによる緊結部は、くさびがゆるみなく堅固に打ち込まれ緊結されているか				
	25	緊結金具による緊結部は、所定の締め付けトルクで堅固に緊結されているか				

点検項目	点検内容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
	26 各部材間の緊結部にゆるみはないか				
床付き布わく	27 床付き布わくは、各層、各スパンにすき間なく設けられているか				
	28 床付き布わくは、はり間方向において支柱とすき間なく取り付けられているか				
	29 つかみ金具は、外れ止めがロックされているか				
手すり、中さん	30 手すりを布兼用にする場合、手すりは布材と同じものが使用されているか				
	31 高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等があるか				
	32 妻面に手すり、中さん等が設けられているか				
壁つなぎ 又は控え	33 壁つなぎ又は控えは、水平、垂直とも決められた通りの間隔で設置されているか				
	34 壁つなぎに専用の壁つなぎ用金具が使用されているか				
	35 壁つなぎは壁面に直角(15度以内)に取り付けられているか				
	36 控えは、緊結金具等により支柱に堅固に固定されているか				
	37 壁つなぎ、又は控えのアンカーは十分な強度のあるところに固定されているか				
階段	38 階段のつかみ金具は、外れ止めがロックされているか				
	39 昇降部に手すりは取り付けられているか				
	40 階段開口部に手すり、中さん、幅木を取り付けられているか				
	41 階段を計画通り設置しているか、位置、数は適切か				
梁わく	42 足場構面の開口部に梁わくが使用されているか				
	43 梁わくを取り付けてある両端のスパンは筋かい等により補強されているか				
落下物防止用	44 幅木、メッシュシート、防網は計画通りか				
幅木(より安全な措置)	45 幅木等は取り外されていないか				
	46 幅木は脚柱に確実に取り付けられているか				
メッシュシート	47 メッシュシートは水平支持材に取り付け、すべてのはとめで緊結されているか				
防網	48 防網のつり綱は確実に緊結されているか				
その他	49 朝顔等の付帯設備の取り付けは問題ないか				
	50 最大積載荷重は表示されているか				
	51 作業主任者名とその職務は表示されているか				



## 足場の組立て後等の点検表【張り出し足場】

《参考様式》

点検回数: 回目

工 事 名:	組立開始日: 年 月 日	点検日: 年 月 日( 曜日)	
工 期:	点検実施理由:(組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、その詳細( )		
事業場名: (元 請)	足場の用途:	元請確認	
組立て事業者:	足場の概要:(高さ m、幅 m)(層数 、スパン数 )、設置面状態( )		
作業主任者:	点検者職氏名:		
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):		

点検項目	No.	点 検 内 容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届) 部材	1	床材、張り出し材、大引き、根太、手すり等は計画通りか				
	2	部材(床材、張り出し材、大引き、根太、緊結材等)の損傷及び腐食がないか				
	3	足場部材として決められたものが使用されているか				
張り出し材	4	張り出し材は、ガス孔をあけてアンカーボルトに取り付けられているか				
	5	張り出し材は、適切な取付間隔(7.4m以下)で確実に取り付けられているか				
	6	アンカーボルトが取り付けられていない箇所はないか				
	7	アンカーボルトはダブルナットで堅固に締め付けられているか				
大引き	8	張り出し材は、建物の柱等の堅固な箇所に取り付けられているか				
	9	大引きは、梁間方向の建地等の間隔に合致するように設置されているか				
根太	10	大引きは、張り出し材にボルト等で確実に固定されているか				
	11	根太は、上部足場の建地の下にくるように設置されているか				
	12	根太は、大引きに固定されているか				
作業床	13	根太は、上部足場より外側に突き出て設置されているか				
	14	足場板は、根太上にすき間なく全面に敷かれているか				
手すり、中さん 幅木(より安全な措置)	15	足場板は、釘付け等により根太に固定されているか				
	16	高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等が設けられているか				
足場の脚部	17	張り出し材の先端部には幅木が設けられているか				
	18	ベース金具は、所定の位置に釘付け等により固定されているか				
上部足場	19	上部足場の脚部付近に壁つなぎが設けられているか				
	20	上部足場については、該当する足場のチェックシートにより点検する				

# 足場の組立て後等の点検表【つりわく足場】

《参考様式》

点検回数: 回目

工 事 名:	組立開始日: 年 月 日	点検日: 年 月 日( 曜日)	
工 期:	点検実施理由:(組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、その詳細( )		
事業場名: (元 請)	足場の用途:	元請確認	
組立て事業者:	足場の概要:(高さ m、幅 m)(層数 、スパン数 )、設置面状態( )		
作業主任者:	点検者職氏名:		
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):		

点検項目	No.	点 検 内 容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届)	1	床材、つりわく、つりもと、手すり等は計画通りか				
	2	部材(床材、つりわく、取付金具、緊結金具等)の損傷及び腐食がないか				
	3	足場部材として決められたものが使用されているか				
つりもと	4	取付金具等は、鉄骨梁、突りょう等に溶接又はボルト等で堅固に固定されているか				
	5	取付金具には、所定のもものが使用されているか				
つりわく	6	つりわくは、鉄骨梁等に取り付けられた取付金具に取り付けられているか				
	7	つりわくは、取付金具に専用の取付けボルトで堅固に取り付けられているか				
	8	つりわくの設置間隔(1.85m以下)は、よいか				
	9	つりわくは、水平に取り付けられているか				
作業床	10	つりわくには、床付き布わく又は足場板が全面に敷かれているか				
	11	床付き布わくは、外れ止めのロックがされているか				
	12	足場板は、ゴムバンド等でつりわくに固定されているか				
	13	作業床は、幅40cm以上のものがつりわくの両側に設けられているか				
手すり、中さん	14	高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等が設けられているか				
	15	手すりは、つりわくに緊結金具等により確実に固定されているか				
墜落防止措置	16	つりわくのつり材間に安全ネット等による墜落防止の措置がされているか				
落下防止措置	17	幅木、防網等は計画通りか				
	18	幅木等は取り外されていないか				
幅木(より安全な措置)	19	幅木は脚柱に確実に取り付けられているか				
	20	防網のつり綱は確実に緊結されているか				
防網	21	最大積載荷重は表示されているか				
	22	作業主任者名とその職務は表示されているか				

## 足場の組立て後等の点検表【つり棚足場】

《参考様式》

点検回数: 回目

工 事 名:	組立開始日: 年 月 日	点検日: 年 月 日( 曜日)	
工 期:	点検実施理由:(組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、その詳細( )		
事業場名: (元 請)	足場の用途:	元請確認	
組立て事業者:	足場の概要:(高さ m、幅 m)(層数 、スパン数 )、設置面状態( )		
作業主任者:	点検者職氏名:		
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):		

点検項目	No.	点 検 内 容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届)	1	床材、根太、つり桁、手すり等、補強材等は計画通りか				
	2	部材(床材、つりチェーン、つりもと金具、つり桁、根太、緊結金具等)の損傷及び腐食がないか				
	3	足場部材として決められたものが使用されているか				
つりもと	4	取付金具等は、鉄骨梁、突りょう等に溶接又はボルト等で堅固に固定されているか				
	5	取付金具には、所定のものが使用されているか				
つりチェーン用クランプ	6	つりチェーン用クランプは、厚さ6mm以上のフランジに取り付けられているか				
	7	つりチェーン用クランプのかかり代は十分か				
	8	つりチェーン用クランプは、所定の締め付けトルクでフランジに固定されているか				
つりチェーン	9	つりチェーンの取付間隔、配置はよいか				
	10	つりチェーンのフックは、確実にリンクに掛けられているか				
	11	つりチェーンのつりチェーン用クランプへの掛け方はよいか				
	12	つりチェーンは、つり桁に確実に掛けられているか				
つり桁(おやご)	13	つり桁の間隔は、1.8m以下になっているか				
	14	つり桁同士の接続部又は交さ部は、確実に緊結材等で固定されているか				
	15	つり桁は、鉄骨梁等より外部へ所定の長さ突き出されているか				
根太	16	根太の間隔は、1.8m以下になっているか				
	17	根太は、つり桁に緊結金具又は番線等の緊結材で確実に固定されているか				
作業床	18	足場板は、根太、つり桁にゴムバンド等で確実に固定されているか				
	19	足場板は、鉄骨梁の両端に設けられているか				
手すり等	20	つり桁の外部へ突き出た部分には、手すり柱が堅固に取り付けられているか				
	21	高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等が設けられているか				
	22	布、やらず等の設置は計画通りか				
振れ止め	23	つり棚足場は、鉄骨柱より振れ止めが取られているか				
部材の緊結部	24	緊結金具による緊結部は、所定の締め付けトルクで堅固に緊結されているか				
	25	各部材間の緊結部にゆるみはないか				

点検項目	点 検 内 容		良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
安全ネット等	26	つり棚足場の下部全面に安全ネットが張られているか				
	27	つり棚足場の外部には、建築工事用垂直ネットが張られているか				
落下防止措置 幅木 <small>(より安全な措置)</small> メッシュシート 防網	28	幅木、防網等は計画通りか				
	29	幅木等は取り外されていないか				
	30	幅木は脚柱に確実に取り付けられているか				
	31	防網のつり綱は確実に緊結されているか				
その他	32	最大積載荷重は表示されているか				
	33	作業主任者名とその職務は表示されているか				

【参考】 わく組足場用作業構台の組立て後等の点検表【荷受け構台】《参考様式》

			点検回数:	回目
工事名:	組立開始日: 年 月 日	点検日: 年 月 日( 曜日)		
工期:	点検実施理由:(組立後・一部解体・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、その詳細( )			
事業場名: (元請)	足場の用途:	元請確認		
組立て事業者:	足場の概要:(高さ m、幅 m)(層数、スパン数)、設置面状態( )			
作業主任者:	点検者職氏名:			
点検事業者:	点検者経験等(修了証番号等):			

点検項目	点検内容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届) 部材	1 建わく、床付き布わく、交さ筋かい等、ベース金具等の脚部、補強材等は計画通りか				
	2 部材(建わく、床付き布わく、交さ筋かい、緊結金具、脚柱ジョイント等)の損傷及び腐食がないか				
	3 足場部材として決められたものが使用されているか				
基礎	4 敷板、敷角等に異常はないか				
	5 ジャッキ型ベース金具は、敷板に釘止めされているか				
	6 ジャッキ型ベース金具にゆるみはないか				
	7 根がらみは所定の位置に直交型緊結金具で緊結されているか				
	8 敷板に直角方向の根がらみは取り付けられているか				
建わく	9 躯体と建わくの設置間隔はよいか				
	10 建わく脚柱は、アームロック、ピン差し等で固定されているか				
	11 脚柱ジョイント、アームロックは、抜け止めのロックがされているか				
交さ筋かい	12 交さ筋かいは、全層、全スパンにわたって枠組の両面に取り付けられているか				
	13 交さ筋かいピンは完全にロックされているか				
下さん	14 下さんが取り付けられているか				
	15 建わくの脚柱等に固定されているか				
緊結金具	16 緊結金具は、所定の締め付けトルクで緊結されているか				
	17 各部材間の緊結部にゆるみはないか				
床付き布わく	18 床付き布わくは、幅40cm以上、すき間3cm以下であるか				
	19 床付き布わくは、はり間方向において建わく脚柱にすき間なく取り付けられているか				
	20 床付き布わくのつかみ金具は、外れ止めがロックされているか				
	21 作業床は、わく組足場の横架材の脚柱の中途には設置されていないか				
手すり(妻面)	22 妻面等に高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等があるか				
手すり、中さん	23 荷受け構台の外周部には、高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等があるか				
手すり先行工法 の手すりわく等	24 手すりわくの取り付けは正しく行われているか				
	25 交さ筋かい併用の手すりわくの箇所には、交さ筋かいが取り付けられているか				
	26 手すりわくの下部には、幅木が取り付けられているか				

点検項目	点検内容	良否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
階段	27	階段わくのつかみ金具は、外れ止めがロックされているか			
	28	昇降部に手すりは取り付けられているか			
	29	階段開口部に手すり、中さんを取り付けてあるか			
	30	階段を計画通り設置しているか、位置、数は適切か			
壁つなぎ 又は控え	31	壁つなぎ又は控えは、水平、垂直とも決められた通りの間隔で設置されているか			
	32	壁つなぎに専用の壁つなぎ用金具が使用されているか			
	33	壁つなぎは壁面に直角(15度以内)に付いているか			
	34	控えは、緊結金具等により建わく脚柱に堅固に固定されているか			
	35	壁つなぎ、又は控えのアンカーは、十分な強度のあるところに固定されているか			
	36	作業構台のはり材、斜材、つり材の基部には、壁つなぎが設置されているか			
梁わく	37	梁わくを支持している建わくの補強は良いか			
	38	梁わくの支持部は異常ないか			
	39	梁わくには梁渡し等による補強がされているか			
層間安全ネット	40	計画通りの位置に設置されているか(2層以下)			
	41	すき間なく有効に張られているか			
	42	安全ネットは、持送りわく等につり綱等で確実に取り付けられているか			
落下物防止用	43	幅木、メッシュシート、防網は計画通りか			
幅木	44	幅木等は取り外されていないか			
	45	幅木は脚柱に確実に取り付けられているか			
メッシュシート	46	メッシュシートは水平支持材に取り付け、すべてのはとめて緊結されているか			
防網	47	防網のつり綱は確実に緊結されているか			
渡りの設置	48	建物と足場間に設置されているか、また、不備はないか(位置・箇所・手すり等)			
その他	49	防護棚等の付帯設備の取り付けは問題ないか			
	50	同一スパン内に荷受け構台は、1箇所としているか			
	51	製造者が定める基準により設置されているか			
	52	最大積載荷重は表示されているか			
	53	作業主任者名とその職務は表示されているか			
上さん (より安全な措置)	54	上さんが取り付けられているか			

### 地山掘削・土止め支保工始業点検表

工事番号		確認者					
工事名		元請管理責任者			協力業者責任者		
名称							
作業場所							
項目	月日	/	/	/	/	/	処置
	事項						
共通	1. 作業主任者、立入禁止等の表示はよいか。						
	2. 深さ1.5m以上のとき、昇降設備があるか。						
	3. 埋設物防護はよいか。						
	4. 周辺地盤に沈下、亀裂等はないか。						
地山掘削	1. 地山の勾配は適正か、及び湧水等の措置はよいか。						
	2. 落石、崩壊の恐れはないか。						
	3. すかし堀をしてないか。						
	4. 周辺の塀、擁壁への影響はないか。						
	5. 掘削箇所の立入禁止措置はよいか。						
	6. 開口部の防護柵(高さ90cm)はよいか。						
	7. 掘削土を法肩に積んでいないか。						
	8. 重機等の位置、通路が法肩に近すぎないか。						
	9. 運搬車両等の進入、退出に誘導員をつけているか。						
	10. 機械の運行経路、出入の方法、信号合図の方法を作業員に周知させているか。						
土止め支保工	1. 計画図通りに組立てられているか。						
	2. 部材の損傷、変形、腐食はないか。						
	3. 部材の変位はないか。						
	4. 切梁、腹おしは脱落防止のために矢板、くい等に確実に取付けてあるか。						
	5. 切梁の緊圧の度合いはよいか。						
	6. 部材の接続部、取付部、交叉部に異常はないか。						
	7. 中間支持柱があるときは、切梁を中間支持柱に確実に取付けてあるか。						
	8. 材料を切梁上に乗せるときは、切梁を補強して緊結しているか。						
	9. 土圧計等の測定通路はよいか(巾、手摺、親綱)						
	10. 土圧の測定及び部材の変位の記録を行っているか。						
記号	○:良好 △:要修理 ∨:修理済 A:要調整 欠:欠品 ☑:該当なし ×:要交換 L:給油脂						

## 水中ポンプ始業点検表

工事番号		確認者					
工事名		元請管理責任者			協力業者責任者		
名称							
作業場所							
項目	事項	月	日	/	/	/	処置
	共通	1. 作業主任者、立入禁止等の表示はよいか。					
2. 深さ1.5m以上のとき、昇降設備があるか。							
3. 埋設物防護はよいか。							
4. 周辺地盤に沈下、亀裂等はないか。							
地山掘削	1. 地山の勾配は適正か、及び湧水等の措置はよいか。						
	2. 落石、崩壊の恐れはないか。						
	3. すかし堀をしてないか。						
	4. 周辺の塀、擁壁への影響はないか。						
	5. 掘削箇所の立入禁止措置はよいか。						
	6. 開口部の防護柵(高さ90cm)はよいか。						
	7. 掘削土を法肩に積んでいないか。						
	8. 重機等の位置、通路が法肩に近すぎないか。						
	9. 運搬車両等の進入、退出に誘導員をつけているか。						
	10. 機械の運行経路、出入の方法、信号合図の方法を作業員に周知させているか。						
水替工	1. アース接地は完全にとつてあるか。						
	2. キャブタイヤケーブルは破損、劣化していないか。						
	3. 接水部に泥、ゴミの詰まりはないか。						
	4. 吊り込み、吊り上げ時にキャブタイヤケーブルをつかんでやっていないか。						
	5. 分電盤には漏電遮断器が組み込まれ作動しているか。						
	6. 通路を横断するケーブルは養生しているか。						
	7. ポンプ本体に損傷、異常音、発熱はないか。						
	8. ホースに損傷はないか、接続部はよいか。						
記号	○:良好 △:要修理 ㄥ:修理済 A:要調整 欠:欠品 ☑:該当なし ×:要交換 L:給油脂						



### 建設業退職金共済証紙貼付状況報告書

報告日 令和 年 月 日

元請名	殿	共済契約者(下請)名
工事名		共済契約者番号
工事コード		令和 年 月 日
被共済者数	人	延べ就労日数
		令和 年 月 日

< 月分 > もしくは < 工事終了日 年 月 日 >

受 入		貼 付		払 出				証紙残枚数	
受入年月日	受入枚数	貼付年月日	被共済者数	共済手帳への証紙貼付	払出年月日	下請名	被共済者数		払出枚数
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		人	枚	枚
合 計	枚	合 計	人	枚	合 計		人	枚	

以上のとおり報告致します。

(注) の箇所に必要事項入力。  
必ず、受入・貼付・払出年月日を入力。

## 安全・訓練等の実施報告書

工事番号 第 号

工事名

工事場所

着手 令和 年 月 日

完成 令和 年 月 日

請負代金額 金 円

請負者 住所

氏名

安全・訓練等の実施報告書（参考様式）

実施年月日	令和 年 月 日（ 曜日） 時 ～ 時
場 所	
参 加 者	
実施項目	
実施状況写真	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;">参加者が確認できる実施状況写真を添付</div>

注) 監督員から提示を求められた時、別途確認できる資料が整理されていればよい。

# 災害防止協議会議事録（ 回）

《参考様式》

日 場 出 席 者 元 請 職 員	令和 年 月 日 ( ) : ~ :
	会長 副会長
協力業者名	出席者
○○建設	* * * *
○○工務店	* * * *
△△警備保障	* * * *
議 題	1. 10月の工程と安全管理計画
及 び	別紙「月別安全衛生管理計画（案）」に基づき説明が有り、協議の結果
審議経過・結果	合意された。
	2. 前月の反省事項
	①タバコの吸殻の片付けが不十分
	②終業時の片付けが徹底されていなかった
	3. 協議会現場パトロール点検結果報告
	①開口部の手すりが外れている場所があった
	②安全通路に資材が放置されている場所があった
	4. 今月の店社安全パトロールで下記事項について指導された
	①現状に合った作業計画書を作成すること

注) 記録事項

1. 前回の申し合わせ（協議）事項の実施状況
2. 今回の安全衛生実施計画（具体策）
3. その他特記（審議事項）
4. 出席者の署名を受けること。
5. 欠席会員については必ず理由を明記すること。

欄が不足の場合別紙をつける。

## 安全巡視日誌

工事名				安全巡視員	印			
巡視日	年	月	日	天候	現場状況	良好・普通・不良( )、作業休止		
巡視内容								
点検項目		巡視時間 時～ 時			巡視時間 時～ 時			
		○× 良否	記事(指示事項等)		○× 良否	記事(指示事項等)		
作業員	保安帽、服装、はきもの							
	保護具の使用の状況							
	立入禁止(危険)箇所							
機械器具	作業(据付)場所の整備							
	操作(作業)方法・資格							
	整備・点検状況							
交通安全	標識の保全							
	交通安全施設の保全							
	交通誘導の状況							
	路面状況(段差・汚損)							
工事現場	土留、支保工							
	型枠、足場工、昇降設備							
	掘削方法							
	整理整頓							
	通路・出入口							
その他	電気設備	受電施設						
		配線状況						
記事						現場代理人	主任(監理) 技術者	安全管理 責任者

注) 各現場の状況に応じて定めた自社の様式でよい。

# 安全ミーティング・危険予知活動報告書

《参考様式》

令和 元年 6月 10日 ( 月 ) (記入例)

作業内容	どんな危険があるか	リスク見積り				リスク対策内容 (作業員の意見として記入する。)	確認者	対策実施後の見積り	ポイント
		重大性	可能性	見積り	評価				
地山掘削	掘削箇所へ墜落する	3	2	6	IV	墜落防止柵を設置する。		3*1	単管で90cm中サンを入れる。
	土砂が崩壊し生き埋めになる	3	2	6	IV	掘削勾配を5分以上にする。法肩を点検する。		3*1	
	バックホウに接触する	3	2	6	IV	カラーコーンとバーで立入禁止し誘導員を配置する。		3*1	誘導員の指示に従って作業する。
切梁・腹起し取り付け	クレーンから支保工が落下する	2	2	4	III	作業範囲の立入禁止と吊りクランプを確実に取付ける。		2*1	介錯ロープを使う。
	切梁・腹起しが落下する	2	1	2	II	ボルト・ナットやくさびで確実に固定する。			
	作業足場から墜落する	3	2	6	IV	足場を確実に固定し、安全带を使う。		3*1	安全带は腰より上に掛けること。
元請安全指示事項	開口部に墜落防止柵を設ける。掘削面の勾配を5分以上とする。カラーコーンとバーで立入禁止措置をする。埋設物の位置を確認し表示と防護をする。								
(リスク安全対策と指示事項)	掘削中に地山を点検し浮石を除去する。								
	作業区域内への立入禁止措置をする。合図を確認し介錯ロープを使用する。くさび等で切梁・腹起しを固定する。足場を堅固にし安全带を使用する。								
今日の行動目標	足場を確保し安全带を使う！								

会社名 (グループ名)	〇〇建設	作業員 (サイン)	
職長	〇〇		

リスク評価			
重大性	点数 A	可能性	点数 B
重大	3	確実又は可能性が高い	3
中程度	2	可能性がある	2
軽微	1	殆ど起こらない	1

評価と対策		
見積り結果 A*B	評価	対策
9	V	即座の対応が必要
6	IV	抜本的対策が必要
3~4	III	何らかの対策が必要
2	II	注意を要する必要有り
1	I	現時点での対策不要

## 新規入場者教育・アンケート（個人票）

作業所名：

1次協力会社名

【新規入場者アンケート】 ※ 記載の個人情報、安全衛生管理の為のみに使用し、他の目的には使用しません。 記入日 令和 年 月 日（ ）

二重線枠内は本人が正確に【記入】して下さい

ふりがな	性別	職種	経験年数	生年月日	年齢
氏名	男・女		年	昭・平 年月日	才
現住所	都・道 府・県	市・郡 区		電話番号	— —
緊急連絡先	続柄：[ 配偶者・親・子・その他 ]		名前：[ ]	電話番号	— —
雇用主（あなたが給料をもらう会社の名前）			雇用年月日		特殊健康診断が必要とされる業務は、 有機溶剤、石綿、じん肺、等
			昭・平 年月日		
健康管理	定期健康診断日 (直近の実施日)	血液型	血 圧 (最高)	特殊健康診断日 (※特殊業務に就く方は必ず記入して下さい)	特殊健康診断の種類
	年月日		～ (最低)	年月日	
あなたは自営業(事業主の方)又は一人親方ですか？					はい・いいえ
(上で「はい」と答えた方) 労災特別保険(中小事業主・一人親方)に加入していますか？					加入済・未加入
☆特別加入していないと、ケガをしても労災保険の適用はありません。この現場で働く場合は、必ず特別加入してください。					
あなたは雇用通知書(雇用契約書)をもらっていますか？					もらっている・いない
あなたがこれまでにかかった病気または現在治療中の病気はありますか？					ある・ない
(上で「ある」と答えた方) 高血圧・低血圧・狭心症・糖尿病・難聴・腰痛・他( )					
建設業退職金共済(建退共)に加入していますか？					加入済・未加入
免許等	<input type="checkbox"/> (移動式)クレーン運転士(5t以上) <input type="checkbox"/> 電気工事士(種) <input type="checkbox"/> その他( )				
技能講習 (作業主任者)	<input type="checkbox"/> 地山の掘削 <input type="checkbox"/> 土止め支保工 <input type="checkbox"/> 型枠支保工 <input type="checkbox"/> 足場組立等 <input type="checkbox"/> 鉄骨組立等 <input type="checkbox"/> 木造建物の組立等 <input type="checkbox"/> コンクリート造工作物解体等 <input type="checkbox"/> 第1種酸素欠乏危険作業主任者 <input type="checkbox"/> 第2種酸素欠乏危険作業主任者 <input type="checkbox"/> 有機溶剤作業 <input type="checkbox"/> 石綿作業 <input type="checkbox"/> その他( )				
技能講習 (就業制限業務)	<input type="checkbox"/> 1t以上5t未満の移動式クレーン <input type="checkbox"/> 1t以上のフォークリフト <input type="checkbox"/> 3t以上の車両系建設機械(基礎工専用) <input type="checkbox"/> 3t以上の車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削) <input type="checkbox"/> 3t以上の車両系建設機械(解体用) <input type="checkbox"/> 1t以上の不整地運搬車 <input type="checkbox"/> 作業床高さ10m以上の高所作業車 <input type="checkbox"/> 玉掛業務(1t以上) <input type="checkbox"/> ガス溶接 <input type="checkbox"/> その他( )				
特別教育等	<input type="checkbox"/> アーク溶接 <input type="checkbox"/> 電気取扱 <input type="checkbox"/> 研削砥石 <input type="checkbox"/> フォークリフト(1t未満) <input type="checkbox"/> 伐木等作業 <input type="checkbox"/> 機械集材装置の運転 <input type="checkbox"/> 不整地運搬車(1t未満) <input type="checkbox"/> 3t未満の車両系建設機械 <input type="checkbox"/> コンクリートポンプ車 <input type="checkbox"/> 3t未満の自走しない基礎工専用機械 <input type="checkbox"/> 車両系建設機械(締固め) <input type="checkbox"/> ボーリングマシーン <input type="checkbox"/> 作業床高さ10m未満の高所作業車 <input type="checkbox"/> 巻上げ装置 <input type="checkbox"/> 移動式クレーン(1t未満) <input type="checkbox"/> 1t未満の玉掛け <input type="checkbox"/> 空気圧縮機の運転 <input type="checkbox"/> 酸素欠乏危険作業 <input type="checkbox"/> 特定粉じん作業 <input type="checkbox"/> *丸のこ <input type="checkbox"/> *振動工具 <input type="checkbox"/> *刈払機 <input type="checkbox"/> *職長・安全衛生責任者 <input type="checkbox"/> その他( )				

【新規入場者受入教育】 ☆入場時の誓約「安全衛生・環境」 実施日 令和 年 月 日（ ）

1. 朝礼には必ず出席し、安全作業や注意事項を厳守します。	8. 喫煙は指定場所を使用し、くわえ煙草は絶対にしません。
2. 保護帽・保護具を着用し、高所作業は必ず安全帯を使用します。	9. 資機材の荷降ろし場所は、作業所職員等の指示に従います。
3. 機械・設備・有資格等の始業前点検、作業手順書による作業の遵守、KY活動等の安全衛生活動に積極的に参加します。	10. 材料ロスを出さない作業を工夫し、ゴミの減量化に努めます。
4. 作業中にケガ又は身体の具合が悪くなった時は、必ず職長を通じて事務所へ届け出ます。	11. 廃棄物、危険・有害物(スプレー缶・シンナー他)は、決められた方法で指定場所へ分別し、一般ゴミは必ず持ち帰ります。
5. 作業に支障となる保安設備(手摺・ネット・防護柵等)は、事前に職長を通じて事務所に報告し、勝手に変更(外す)しません。	12. 作業所のISO「品質向上」「環境保全」活動推進に合致又は配慮した作業を遵守します。
6. 万一、ケガをした場合直ちに作業所職員に報告します。もし報告が遅れ事故が現認されない場合、労災手続きを拒否されても異存を申立てません。	☆私は新規入場者受入教育を受講し、作業所のルールを守ります。 ☆提出した個人情報の取扱いについて、承諾しました。
7. 持場の整理整頓に心掛け、作業終了時には必ず清掃します。	受講者氏名(自筆)
	健康状態(□にVチェック)
	<input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 悪い

毎年実施  
特定の日に  
一度、定期的に

## 我社の安全衛生点検表（全業種対象）

社長・経営  
首脳者用

— 令和 年度 —

働く人の安全と健康を確保することは、経営者の最も重要な責務の1つです。近年の急激な景気の後退で、安全衛生管理活動や災害防止に必要な経費が抑制されていないか懸念されるところです。

ついては、今まで培われた貴社の安全衛生管理水準が本年において維持されているかどうか点検し、景気回復が期待される新しい年に向け、その結果を踏まえ更なる安全衛生水準の向上につなげてください。

点検年月日	年 月 日	点 検 者	社長・副社長・専務・常務・役員
-------	-------	-------	-----------------

点検項目（該当しない項目には、チェックする必要はありません。）

### 1 いわゆる「CSR（企業の社会的責任）」等について

- (1) CSRの一環として、労働災害防止についても説明できる  はい  いいえ
- (2) 説明できるよう、労働災害対策部署が組織的に確立している  はい  いいえ
- (3) CSRのため労働安全衛生マネジメントシステムを導入し実施している  はい  いいえ
- (4) CSRのため、少なくともリスクアセスメントを導入し実施している  はい  いいえ

### 2 安全文化について

- (1) 我社には、安全文化が根付いていると思う（取り組み中である）  はい  いいえ

### 3 自社における安全衛生方針、取組等について

- (1) 労働者の安全と健康の確保のため、自社安全衛生方針を策定し、社内に表明している  はい  いいえ
- (2) 表明は文書化し、社長室、講堂、会議室、食堂等に掲示している  はい  いいえ
- (3) 年間安全衛生管理計画は、概ね計画どおり推進している  はい  いいえ
- (4) 安全衛生確保対策のための予算・資金は、十分だと思っている  はい  いいえ
- (5) この1年、安全衛生に関する予算を減らしていない  はい  いいえ
- (6) この1年、安全衛生スタッフを減らしていない  はい  いいえ
- (7) この1年、安全衛生に係る設備投資を減らしていない  はい  いいえ
- (8) この1年、安全衛生に関する教育回数を減らしていない  はい  いいえ
- (9) KY等の自主的安全衛生活動は活発に行っている  はい  いいえ
- (10) 業務の閑散時を利用し、作業標準の見直し、4Sを実施した  はい  いいえ

### 4 自社の労働災害発生状況等について

- (1) 自社の労働災害発生状況については、概ね把握している  はい  いいえ
- (2) 自社の度数率・強度率は、全国平均と比べどの位か概ね知っている  はい  いいえ
- (3) 自社の安全衛生水準は昨年と比べ低下していない  はい  いいえ

・ご不明な点などについては、愛知労働局又はお近くの労働基準監督署にお問い合わせください。

・この様式は愛知労働局ホームページ（<http://www.aichi-rodo.go.jp/>）にも掲載しています。

安全衛生点検表 愛知労働局 作成



毎年実施、  
随時に実施

《参考様式》

## 職場の安全衛生点検表（建設業用）

みんなの  
点検表

— 令和 年度 —

労働災害を発生させないため、この点検表を活用し、職場の安全衛生点検を実施しましょう。

この点検表は、過去の死傷災害を踏まえて、必要と考えられるチェック項目をピックアップしたものです。

点検により見つけれられた問題点は、安全衛生確保のための改善を図って下さい。

なお、この点検表は労働基準監督署へ提出の必要はありません。

点検年月日	年 月 日	点検者 職・氏名	職名： 氏名：
-------	-------	----------	------------

点検項目（該当しない項目には、チェックする必要はありません。）

### 1 工事の計画段階における安全衛生の確保の状況

- (1) 安全衛生管理計画を作成しているか  適  否
- (2) 仕事の工程・機械設備等について事前評価としての危険性又は有害性等の調査（以下「RA」という。）及びその結果に基づく措置は適切か  適  否
- (3) 店社内で事前評価体制の確立・計画届の参画者資質向上を図っているか  適  否

### 2 安全衛生管理体制等の状況

- (1) 統括安全衛生責任者、元方安全衛生管理者、安全衛生責任者及び店社安全衛生管理者を選任し、責任と権限を明確化しているか  適  否
- (2) 安全衛生協議会を設置・運営し作業間の連絡調整を行っているか  適  否
- (3) 元方事業者は関係請負人の法令違反を防止するための指導・援助をしているか  適  否
- (4) 安衛法施行令第6条に定める作業には作業主任者を選任しているか  適  否
- (5) 関係請負人が行う新規入場者教育に対する資料や場所の提供など、教育を行いやすい現場環境を整えているか  適  否
- (6) 労働災害、事故、ヒヤリ・ハット事例が発生した場合、再発防止対策を講じるほか、RAのための情報として蓄積しているか  適  否

### 3 安全衛生教育等の実施状況

- (1) 新規入場者の教育を実施しているか  適  否
- (2) 特別教育（安全衛生規則第36条）の実施を確認しているか  適  否
- (3) 職長・安全衛生責任者教育を実施しているか  適  否

### 4 労働安全衛生マネジメントシステム（以下「OSHMS」という）及びRAについて

- (1) OSHMSに基づく現場における安全衛生方針は表明されているか  適  否
- (2) 労働安全衛生管理について、P→D→C→Aサイクルを回しているか  適  否
- (3) RAが適時に実施され、その結果に基づく措置による安全対策が図られているか  適  否

「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」、「機械の包括的な安全基準に関する指針」、「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」等については、愛知労働局ホームページに掲載してありますので、ご利用下さい。

## 5 有資格作業従事者の状況（資格証を確認）

- |             |   |                |   |
|-------------|---|----------------|---|
| (1) 車両系建設機械 | <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 該当なし | (4) クレーン等      | <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 該当なし |
| (2) 玉掛け     | <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 該当なし | (5) 溶接（ガス、アーク） | <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 該当なし |
| (3) 高所作業車   | <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 該当なし | (6) フォークリフト    | <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 該当なし |

## 6 安全衛生意識の高揚について

- |  |                            |                            |
|--|----------------------------|----------------------------|
| (1) 安全衛生旗等の掲揚、ポスター、標語等の掲示を行っているか         | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (2) 安全施工サイクル活動（安全ミーティング、朝礼、KY活動等）を行っているか | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |

## 7 墜落災害防止対策の状況

- |  |                            |                            |
|--|----------------------------|----------------------------|
| (1) 足場等高さ 2 m以上の作業に安全な作業床を設置しているか                                    | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (2) わく組足場以外の足場には高さ 85 cm以上の手すり、及び高さ 35 cm以上 50 cm以下の位置に中さん等が設置されているか | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (3) わく組足場（妻面を除く）には、交さ筋かい及び高さ 15 cm以上 40 cm以下の下さん等、若しくは手すりわくが設置されているか | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (4) 開口部の墜落防護措置は適切になされているか  | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (5) 高さ 1.5m以上の作業箇所への安全な昇降設備は設置されているか                                 | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (6) 墜落の危険のある高所で作業を行う作業員に、安全帯を使用させているか                                | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |

## 8 土砂崩壊災害防止対策の状況

- |                                       |                            |                            |
|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| (1) あらかじめ地質調査を実施し、RAを実施し施工計画が樹立されているか | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (2) 掘削面は高さに応じた安全な勾配以下の傾斜にしているか        | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (3) 作業開始時に、地山の点検を行っているか               | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (4) （土止め先行工法により）土止め支保工を設置しているか        | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |

## 9 建設機械、クレーン災害防止対策の状況

- |                                      |                            |                            |
|--------------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| (1) 作業計画を定め、関係労働者に周知しているか（作業変更時にも必要） | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (2) 作業指揮者・誘導員等を配置しているか               | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (3) 適切な合図を定め、合図を行っているか               | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (4) 移動式クレーンのアウトリガーの張り出し・位置は適切か       | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (5) 建設機械の危険な用途外使用を禁止しているか            | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (6) 機械の始業前・月例点検を実施しているか              | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (7) 建設機械は特定自主検査の実施日から 1 年以内か         | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |

## 10 電気災害防止対策の状況

- |                          |                            |                            |
|--------------------------|----------------------------|----------------------------|
| (1) 電気設備の感電防止措置は講じられているか | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (2) 配線、分電盤の措置は適切か        | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |

## 11 交通労働災害防止対策の状況

- |  |                            |                            |
|--|----------------------------|----------------------------|
| (1) 「交通労働災害防止のためのガイドライン」に沿った取組みをしているか<br>また、自動車運転中の携帯電話の使用を禁止しているか | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (2) 過積載を容認していないか   | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |

## 12 有害業務等の管理状況

- |   |                            |                            |
|---|----------------------------|----------------------------|
| (1) 粉じん障害防止対策は適正か                         | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (2) 石綿のばく露防止対策と飛散防止対策は適正か                 | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (3) 有機溶剤・硫化水素・一酸化炭素等化学物質や酸欠に対する対策は適正か     | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| (4) 新しい振動障害予防対策指針（21.7.10 制定）に沿った作業管理は適正か | <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |

- (5) 各種健康診断の実施と事後措置は適正か  適  否
- (6) 過去に石綿業務経歴のある者へ健康管理手帳制度の周知を図っているか  適  否
- (7) 快適職場づくりを行っているか  適  否
- (8) 保護具の管理と使用方法は適切か  適  否

\* 建設業等において、クレーン災害が多発しております。適切な作業計画を樹立して作業を行って下さい。

- ・ご不明な点などについては、愛知労働局又はお近くの労働基準監督署にお問い合わせください。
- ・この様式は愛知労働局ホームページ（<http://www.aichi-rodou.go.jp/>）にも掲載しています。

安全衛生総点検用点検表 愛知労働局 作成

○施工体制台帳 添付書類

- ・一宮市と元請業者との契約書の写し
- ・下請契約書の写し
- ・主任技術者の資格を証する書面又は監理技術者資格者証の写し
- ・主任技術者又は監理技術者の雇用を証する書面
- ・監理技術者補佐（配置する場合）の資格及び雇用を証する書面
- ・専門技術者（配置が必要な場合）の資格及び雇用を証する書面
- ・二次以下の下請負がある場合は、再下請負人との契約書の写し

○警備業務

施工体制台帳及び施工体系図への記載は、不要

- ・都道府県公安委員会が交付する「合格証明書」の写しを提示。
- ・有資格者を配置できない場合は「実務経験3年以上が確認できる経歴書」を提示。